

PrivateLLM 構築士

3 級 公式シラバス

Private LLM Engineer Certification Level 3

ver.1.0 2026 年 2 月 プライベート AI 推進協会 (PAPA)

項目	内容
資格名	PrivateLLM 構築士 3 級
主催団体	プライベート AI 推進協会 (PAPA)
受験対象	AI に興味のあるビジネスパーソン全般 (IT 経験不問)
難易度	IT パスポートレベル (独学 1~2 週間で合格可能)
試験形式	オンライン択一式 (40 問・60 分・4 択)
合格基準	正答率 70%以上 (28 問以上正解)
受験料	8,000 円 (税込)
有効期限	2 年間 (更新試験あり)
公式サイト	privatellm.jp

1. 試験の目的と背景

企業や組織が生成 AI を活用する際、情報漏洩リスク・コスト・コンプライアンスの観点から「クラウドにデータを送らずに社内でも動かす AI (プライベート LLM)」の需要が急拡大しています。

しかし、プライベート LLM の概念・仕組み・導入判断を正しく理解できる人材は極めて少なく、企業の DX 推進を阻む要因の一つとなっています。

PrivateLLM 構築士 3 級は、AI の技術的な知識がなくても「プライベート LLM とは何か」「なぜ必要か」「どう導入を判断するか」を正しく理解・説明できる人材を認定する試験です。

2. 対象受験者

以下のいずれかに該当する方を主な対象とします。

- 中小企業の経営者・役員・管理職で AI 導入を検討している方

- 社内の DX 推進・情報システム担当で AI の基礎知識を習得したい方
- 営業・企画・マーケティング職で AI 活用の提案力を高めたい方
- IT コンサルタント・士業で AI 関連の相談に対応したい方
- AI に興味があり、資格取得を通じてキャリアアップを目指す方

※プログラミング・IT 専門知識は一切不要です。

3. 出題範囲 (シラバス)

試験は以下の 5 つの分野から出題されます。各分野の出題比率は括弧内の通りです。

分野 1: プライベート LLM の基礎概念 (25%・約 10 問)

学習項目	具体的な内容
LLM とは何か	大規模言語モデルの定義・仕組みの概要・代表的なモデル (GPT・Llama・Gemma 等)
クラウド LLM との違い	クラウド型・ローカル型・ハイブリッド型の特徴と使い分け
プライベート LLM の定義	オンプレミス・閉域環境での LLM 運用の意味と特徴
なぜプライベートが必要か	情報漏洩リスク・法規制・コスト・カスタマイズ性の観点
主要なオープンソースモデル	Llama・Mistral・Gemma・Qwen 等の概要と特徴

分野 2: セキュリティ・コンプライアンス (20%・約 8 問)

学習項目	具体的な内容
情報漏洩リスク	クラウド AI 利用時のデータ送信リスクと漏洩事例
個人情報保護法・GDPR	AI 利用における個人データ取扱いの基本ルール
EU AI Act	EU AI 規制の概要とプライベート LLM の関係
社内 AI ガバナンス	AI ポリシー策定・利用ガイドラインの考え方
業種別規制	医療・金融・行政・法律分野での AI 利用制限の概要

分野 3: 導入判断と費用対効果 (20%・約 8 問)

学習項目	具体的な内容
導入検討のフレームワーク	プライベート LLM 導入が適しているケース・適さないケースの判断基準
コスト比較	クラウド API コスト vs オンプレミス初期投資・運用費の

	考え方
必要なハードウェア	GPU・メモリ・ストレージの基礎知識（選定の考え方）
ROI の考え方	業務効率化・リスク低減・コスト削減の試算方法
導入ステップ概要	PoC → 検証 → 本番導入の基本的な流れ

分野 4: 主要ツール・技術の概要（20%・約 8 問）

学習項目	具体的な内容
Ollama	ローカル LLM 実行環境の代表ツール・用途・特徴
RAG（検索拡張生成）	社内文書を AI に学習させる仕組みの概要
量子化（Quantization）	モデルの軽量化技術の概要と目的
Dify / LibreChat	プライベート LLM のフロントエンドツールの概要
API 連携の基礎	LLM をシステムと繋げる仕組みの基本概念

分野 5: ビジネス活用事例（15%・約 6 問）

学習項目	具体的な内容
業種別活用事例	製造・医療・法律・金融・小売・行政でのプライベート LLM 活用例
社内 FAQ・チャットボット	社内ナレッジを AI 化するユースケース
文書要約・レポート生成	業務文書を AI で自動処理するユースケース
マルチモーダル活用	画像・音声を含む AI 処理の概要
失敗事例と対策	導入失敗パターンと回避策

4. 試験の詳細

項目	内容
出題数	40 問（全問必須）
試験時間	60 分
出題形式	4 択択一式（正解は 1 つ）
受験方法	オンライン（自宅・会社の PC から受験可能）
合格基準	70%以上（28 問以上正解）
試験結果	受験終了後、即時スコア表示

認定証発行	合格後、privatellm-cert.com にてデジタル認定証を発行
バッジ発行	LinkedIn・名刺等に使用可能なデジタルバッジを発行

5. 学習方法と推奨学習時間

学習フェーズ	内容	推奨時間
基礎理解	公式テキスト（無料 PDF）を一読する	3～4 時間
分野別学習	各分野の重要用語・概念を整理する	4～6 時間
問題演習	公式サンプル問題・模擬試験で実力確認	3～4 時間
弱点補強	間違えた分野を重点的に復習	1～2 時間
合計		約 10～16 時間（1～2 週間）

公式テキスト・サンプル問題は privatellm.jp より無料ダウンロード可能です。

6. 資格の活用方法

- 名刺・LinkedIn プロフィールへの記載
- 社内の AI 導入提案書への信頼性付与
- 顧客への AI コンサルティング提案の裏付け
- PrivateLLM 構築士 2 級受験への足がかり
- 認定講師資格取得への第一歩（講師資格は 2 級以上が条件）

7. 上位資格との関係

資格	対象者	主な内容
3 級（本試験）	ビジネスパーソン全般	概念理解・導入判断・活用事例
2 級	IT 担当者・エンジニア	Ollama 構築・RAG 実装・量子化・セキュリティ設計
1 級	上級エンジニア・コンサルタント	マルチモーダル・ファインチューニング・企業導入設計

認定講師	2 級以上の取得者	他者への教育・研修実施・フランチャイズ展開
------	-----------	-----------------------

8. 問い合わせ

公式サイト: <https://privatellm.jp>

認定証確認: <https://privatellm-cert.com>

主催団体: プライベート AI 推進協会 (PAPA / Private AI Promotion Association)

本シラバスの内容は予告なく改訂される場合があります。最新版は公式サイトをご確認ください。